

7部

ご案内



暑い夏ですが、体調にご留意いただき、夏期スクーリングや自宅学習、そして自身の生活を有意義なものにしてください。

1 // お盆休み期間のお知らせ

●通信教育部事務室（仙台駅東口キャンパス）

- ・ 8 / 14・15（全休。自習室も使用不可）
- ・ 8 / 16（電話対応不可。窓口対応・自習室使用は可）

※ 8 / 16の電話対応は国見キャンパス設備点検による停電のためできな
くなりました（『With』124号 p. 49より変更）。

※お盆期間中、学割・証明書等のお申込みは、8 / 11必着でお送りくだ
さい。8 / 12～17の到着分は8 / 18以降の受付処理となります。

●図書館（国見キャンパス）

8 / 13～17休館

2 // 夏期スクーリング期間の追加情報

1 仙台駅東口キャンパス以外の仙台会場スクーリング

●国見キャンパスで開講するスクーリング

8 / 9・10「心理学実験Ⅱ」（8 / 11・12は仙台駅東口キャンパス）

8 / 22・23「心理学研究法Ⅱ」、8 / 25～27「情報処理Ⅰ」

※会場を間違いませんよう、ご注意ください。

2 仙台駅東口キャンパスでの開催行事案内 (予約不要)

■社会福祉士希望者向け・卒業生と話そう

8/11・12 12:00~12:50 「社会福祉原論」の教室

8/19 12:00~12:50 「障害者福祉論」の教室

※8/26・9/9などにも実施予定

■精神保健福祉士希望者向け・卒業生と話そう

8/11 12:00~12:50 「社会福祉原論」の教室

8/19 12:00~12:50 「障害者福祉論」の教室

■福祉心理学科・卒業生と話そう

8/18~21のいずれかにおいて「心理学実験Ⅰ」の教室で実施予定

■レポート学習会・学習相談会

8/4・11 17:45~19:30 (『With』124号 p. 40~41既報)

8/20 15:00~16:00 題材:「心理学実験Ⅰ」1単位め

担当教員:山口奈緒美先生

■職員への質問・相談 仙台駅東口キャンパス開講のスクーリング時には、各教室および3階通信教育部事務室で、随時受付けております。

■科目の内容にかかわる教員への個別質問 『With』123号 p. 41~42を参照のうえ、事前にお申込みください。

■自習室開室時間延長 (『With』124号 p. 40既報)

8/4・11 9:00~19:45 (通常9:00~16:30)

■教室開放 (心理学実験Ⅰ・Ⅱ後に教室をレポート執筆のため開放)

8/12・13・19~21 15:00~17:00 ※学生同士の話し合い可

3 通信教育部事務室での現金お支払いについて

通信教育部事務室での現金お支払いの際（証明書発行、レポート提出台紙購入等）には、お釣りのないようご準備ください。とくに、5,000円札・10,000円札でのお支払いには対応できません。

4 仙台市内 宿泊施設の混雑について

仙台市内の宿泊施設が混雑していますので、早めの予約をお勧めします（『試験・スクーリング情報ブック2017』 p. 230～240参照）。

3 個別学習ガイダンスのご案内 (予約制)

レポート作成や、学習上の諸手続き等について、ご質問、ご相談のある方を対象に下記のとおり開催いたします。

※職員が担当しますので、科目内容に関する質問は対象外です。

●開催日程（予約方法は次頁参照）

日程	時間	会場
8/26(土)	11:45～13:00	盛岡：アイーナ 7階会議室702
8/27(日)		青森：アウガ 5階研修室
		秋田：ALVE 秋田市民交流プラザ 4階洋室B
9/2(土)		東京：東京サテライト（四ツ谷）
9/3(日)	13:00～15:00	札幌：かでの2・7 7階750会議室
9/9(土)	10:00～13:00	郡山：郡山商工会議所 4階4-1会議室
9/10(日)	13:00～15:00	新潟：新潟医療福祉カレッジ 2号館

●予約方法

8月分：8/12、9月分：8/25必着で、学籍番号、氏名、希望日・会場、相談内容（簡単で可）を明記し書面（メール（uc@tfu-mail.tfu.ac.jp）・FAX・郵送・持参）にて予約してください。

※予約受理後、通信教育部より連絡（メール、FAX、郵送、電話）をいたします。

※希望者多数の場合は、時間を指定させていただくことがあります。

4 スクーリング追加開講のご案内

以下のスクーリングを追加で開講いたします（「高齢者福祉論」オンデマンド・スクーリングについては開講予定）。

●特講（子どもの貧困）

開講日・会場：2018年2/17・18 仙台駅東口キャンパス

履修登録・申込締切：2018年1/5

4月生：11月の追加履修登録を行えば受講可。

10月生：2017年度の履修登録を行えば受講可。

講義概要：『レポート課題集B（共通基礎・福祉専門編）』p. 85～86

●特講（地域と生活）＝新設科目 ※来年3月卒業希望者は受講不可

開講日・会場：2018年3/24・25 仙台駅東口キャンパス

履修登録・申込締切：2018年2/25

4月生：来年2月以降の新年度履修登録を早く行えば受講可。

10月生：2017年度履修登録、または来年2月の追加履修登録を行えば受講可。

講義概要：本冊子p. 64～65参照。

●特講（防災士研修講座） ※第1次申込締切を8/20に延長

開講日・会場：9/30・10/1 仙台駅東口キャンパス

※『試験・スクーリング情報ブック2017』p.45の開講日は誤植。

詳細：『試験・スクーリング情報ブック2017』p.45を参照し、8/20までに通信教育事務部あてに第1次申込を行ってください。

●社会福祉援助技術演習A（新潟会場）スクーリング追加開講

開講日：10/28・29 申込方法等：p.72参照

●高齢者福祉論 オンデマンド・スクーリング開講【予定】

今年度後期に、「高齢者福祉論」のオンデマンド・スクーリングが開講される予定です。詳細は次号以降の『With』でご案内します。

※編集の都合上開講できない場合もありますので、ご了承ください。

5 / 10月生の方へ

進級または継続手続きについて、本冊子6部をご参照ください。

休学中の方も6部を参照し、9月末までに復学or休学継続or退学のいずれかの手続きをお願いいたします。

6 / レポート添削の状況について

7/24現在、6/13午前中までに通信教育部に到着したレポートで未返却の科目は次のとおりです。いましばらくお待ちください。その他で未返却の科目がありましたら、通信教育部事務室にご連絡ください。

「社会福祉学入門」「医学一般」「社会福祉援助技術論A・B」「社会福祉援助技術演習B・C」「精神科リハビリテーション学」「心理学研究法Ⅰ」「臨床心理学」「心理療法」

7 試験結果など発送予定

春期スクーリングⅢ（4/30～5/7）結果 6/2 発送済

夏期スクーリングⅠ（5/20～5/28）結果 6/20 発送済

夏期スクーリングⅡ（6/2～7/9）結果 8/9 発送予定

夏期スクーリングⅢ（7/15～8/9）結果 9/9 発送予定

特講・社会福祉学Ⅰ（介護保険と社会福祉士の課題） 6/30 発送済

6月科目修了試験結果 7/14 発送済

オンデマンド・スクーリング1～4 結果 7/11までに発送済

スクーリング受講料の返金（事前届出者のみ＝『学習の手引き』参照）

6/22までに届いた「夏期スクーリングⅠ」分までを6/23までに返金済

8 福祉心理学科の方へのご案内

●社会福祉主事任用資格の取得について

福祉心理学科を卒業する方は、指定科目から3科目の単位修得をしないと資格の取得はできません（『学習の手引き』3章の「社会福祉主事任用資格」欄参照）。とくに、3年次編入学の方にはご注意ください。

●国家資格「公認心理師」の受験基礎資格取得について

国家資格「公認心理師」についての文部科学省・厚生労働省令・通知の公表が遅れているため、省令・通知の詳細、本学通信教育部での今後の対応、在学生の受験基礎資格取得の可能性の有無については、決定次第ご案内をする予定です。

なお、大学からの一括送信メール等でも速報をお送りする予定です。

9 レポート・スクーリング試験の 執筆における不正行為の禁止

他人やネット上と同一または類似のレポートやスクーリング試験を提出することは不正行為となります。発覚した場合は、当該レポートや試験だけでなく、当該年度の成績無効などの懲戒処分となりますので、下記①②にはご注意ください。

①学生同士のレポートの貸し借りは禁止です。

②インターネット上の文章をそのまま使用することは禁止です（「引用」は可）。とくに本学のレポート解答例は、構成や表現を含め一部のみの使用も禁止です。

通信教育部のレポート学習では、自身で教科書、参考図書、適切なWeb上の情報などを利用しレポートをまとめるようにしてください。最初は時間がかかるかもしれませんが、その積み重ねが学問の理解につながります。

なお、レポートの書き方が不明な方は、『学習の手引き』の該当箇所を読み、それでも不安な方は、p. 49～51記載の行事などをご利用いただくか、メールなどでお問い合わせください。

10

学習実態調査のご回答のお願い 【既報】

既に、「在学生の学習に関する実態調査」（『With』124号8部参照）にご回答いただいた皆さんには厚く御礼申し上げます。

まだ回答されていない方は8/31までにご回答ください（科目等履修生は除く）。お忙しいとは存じますが、ご協力をお願いします。

11

通信教育部 教育研究上の目的・ 3つのポリシー改訂のお知らせ

通信教育部の教育研究上の目的・3つのポリシーが改定となりました。

とくに卒業までに身に付けてほしい力を示した「ディプロマ・ポリシー」は皆さんに意識していただきたい内容（p. 60～63参照）ですので、ご自身が在籍する学科の内容についてご確認をお願いします

その他は通信教育部ホームページ（下記参照）にアップしています。

通信教育部トップページの右側「通信教育部 学科紹介」

<https://www.tfu.ac.jp/tushin/yoko2017/01/02/index.html>

12

大学院募集要項の配布

2018年度本学大学院募集要項は9月中旬から配布予定です。通信制大学院か通学課程大学院かを明示のうえお申込みください。通信教育部窓口でも配布しております。

※臨床心理士受験資格取得の第1種指定大学院は通学課程のみです。

13 10月生募集中

2017年度10年生の出願を10/15まで受け付けています。各地で入学説明会も行っています。お知り合いで関心のある方には、どうぞご紹介ください。

14 認知症サポーター養成講座 開催のご案内

認知症サポーター養成講座とは、認知症を正しく理解し地域で認知症の方やその家族を支えていくためにどうしたら良いかを考える講座です。受講修了者は「認知症サポーター」として認定されます。

各地で開講されていますが、本学での開講予定は下記のとおりです。申込方法は次号の『With』126号でご案内しますので、興味のある方は是非お申込みください。

開講予定日：11/11(土) ※時間の詳細は調整中（90分間を予定）

申込締切：10/11を予定

会 場：仙台駅東口キャンパス 受講料：100円（受講当日徴収）

※受講修了された方へ、認知症サポーターとして「オレンジリング」が
進呈されます。

※当日のスクーリング受講者は、時間が重なるため受講できません。

2018年度以降の変更予定事項のご案内

現時点で、2018年4月以降に変更が予定されている事項は、下記のとおりです。本決定ではありませんが、皆さんの学習計画立案に大切な情報のため、速報としてご案内いたします。

●2018年度から学年暦を6期に分割予定です

2018年度より学年暦を大きく6期に分け、『With』は年6回発行、科目修了試験は年6回開催、会場スクーリングの申込締切や成績通知も年6回にして、締切・成績通知時期などをわかりやすくします。

●2018年度科目修了試験実施予定日のお知らせ

現時点では、下記の年6回に実施予定です。

2018年5/19・20 7/7・8 9/8・9 10～11月ごろ 12～1月ごろ 2019年2月ごろ

(年6回とも開催) 仙台・札幌・青森・盛岡・秋田・山形・福島または郡山・東京・新潟または長岡・大阪

(年1～3回開催) 現在行っている他の会場、ただし下記も参照。

●科目修了試験会場の受験予定アンケート回答のお願い

すでにご案内のとおり、下記の科目修了試験会場は、2018年度以降に廃止される可能性があります。2018年度に下記の会場で受験を希望する方は、下記の方法でお申出ください。

その際、可能ならば、上記年6回の実施予定月(5月・7月・9月・10月・12月・2月)から1～2回を選び受験希望月、受験予定科目もお知らせください。

【お申出がなければ廃止の可能性がある会場】

那覇・福岡・広島・名古屋・富山・長野・宮古

【申出方法】

記載事項 ①学籍番号・氏名 ②受験予定会場 ③（あれば）受験希望月・受験予定科目（不明でも可） ④（該当する場合のみ）2018年度に卒業・修了希望の方は9月卒業・修了か3月卒業・修了か

連絡方法 書面（メール、FAX、郵送、または持参）

※メールの場合の宛先 uc@tfu-mail.tfu.ac.jp

第1次申込締切 10/20（予定）

●履修状況票Web閲覧システム、TFUオンデマンドシステムのスマートフォン対応

2018年度中に、スマートフォン等での操作ができるよう準備中です。ただし、オンデマンド・スクーリングについては視聴のみで、確認テストの回答や論述式試験の提出はできない可能性があります。

16 都道府県別学生数

7/13現在、都道府県別在籍（含休学）学生数です。

北海道296、青森181、岩手254、宮城772、秋田162、山形178、福島249、茨城42、栃木43、群馬9、埼玉71、千葉50、東京184、神奈川103、新潟259、富山1、福井1、山梨5、長野15、岐阜2、静岡84、愛知6、三重1、滋賀1、京都6、大阪18、兵庫6、奈良1、和歌山3、鳥取1、島根4、岡山3、広島6、山口1、香川1、愛媛3、高知2、福岡8、佐賀1、長崎1、大分2、宮崎2、鹿児島4、沖縄4

合計3,046名

17 その他のご案内

(1) 通信教育部では、現在ホームページのリニューアルを計画中です。変更されるのはトップページなど一部ですが、スマートフォン等で最適化され閲覧できる予定です。

(2) 学割の申込みは、スクーリングや科目修了試験の申込みと同時、または申込み後に行ってください。

(3) 通信教育部から1カ月に1～2度一括送信メールをお送りしています。必要に応じて、下記の方法で登録をお願いいたします。

【「TFUオンデマンド」が利用可能な方】『学習の手引き』2017版5章1節（2017版以外は10章）「メールアドレス登録」記載の方法でアドレスを登録してください。

【「TFUオンデマンド」が利用できない方】①メールアドレス登録希望の旨と、②学籍番号・氏名、③登録を希望するメールアドレスを、uc@tfu-mail.tfu.ac.jp宛にお送りください。

※携帯電話の「ドメイン指定受信機能」を利用されている方は「@tfu-mail.tfu.ac.jp」を受信できるように設定してください。

(4) 日本心理学会では公開シンポジウム・公開講座が毎年開講されています。東京・大阪などでは数多く開講されています。仙台では8/9に高校生向けのものがありますが、申込みをすれば一般の方の参加も可能です。詳細は日本心理学会ホームページ参照ください。

ディプロマ・ポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

●社会福祉学科 ディプロマ・ポリシー

社会福祉の学びの究極は人間を理解することです。したがって、本学科が目指している人材に求められる資質は人間への深い関心と幅広い視野です。人間のニーズ（必要性）は多種多様であり、たとえ同じニーズであってもその状況に応じて、一つとして同じ対応はあり得ません。このような人間そのもの（人間理解）を対象とする「社会福祉」だからこそ幅広い視野が求められてきます。

以上のことから、社会福祉学科の教育目標は、現在の福祉環境を多面的に理解し、幅広い教養と深い専門領域を学修することによって、社会の発展に寄与できる人、それぞれのライフステージのなかで全ての人びとの「幸せ」（福祉）と「安心」を追究できる人、生活問題を主体的に解決できる人、このような人材を養成することです。従って、大学の理念である行学一如及び社会福祉学科の教育目標を理解し、124単位の単位取得と要件、求められるGPAを満たした上で、社会福祉学の知識と技能・技術を修得し、下記の資質能力について実践を通して理解を深めた人物に学位を授与します。

■学生が身につけるべき資質・能力の目標

社会福祉学科では、社会福祉実践力を習得するために、以下の資質と能力を育てます。

1. 学びと行のための知識・理解

- (1) さまざまな環境下にある人びとの生活や社会で起きている現象に関心を持つことができる
- (2) さまざまな環境下にある人びとの生活状況、それらを取りまく社会構造、身体・心理的特徴、かれらへの関わり方等にどのようなものがあるかを理解できる
- (3) さまざまな環境下にある人びとの福祉的課題について、アセスメントできる
- (4) 自らの関心や適性をふまえて、(2)(3)のなかでも特にどのようなアプローチで対象者の生活状況または社会をより良くすることができるかについて理解できる
- (5) (4)のアプローチについて、専門的知識を身につけた自信がある

2. 学びと行のための技能・技術

- (1) 特定の課題について必要な情報を収集・整理・分析・考察し、文章化する（レポートまたはプレゼンテーションにまとめる）ことができる
- (2) (1)をICT（情報コミュニケーション技術）を用いて発表することができる
- (3) 他者の発表や意見を関心をもって最後まで聞くことができる
- (4) 他者の発表などに対して質問や発言をすることができる
- (5) 他者の発言を促したり自制を促すなどして全体の議論を調整することができる

3. 学びと行のための態度・志向性

- (1) ふだんの生活やさまざまな活動を通して抱いた疑問を大事にし、学びや行のやる気（モチベーション）を高めることができる
- (2) 疑問に答えるための行動を起こし（該当科目を履修する、図書館・各種メディアで情報を集める、先生・友人・家族・知り合いに聞く、当事者に聞きに行く、活動に参加する、など）、自分なりの答えを見つけることができる
- (3) 自分の意見を他者にわかるように伝える工夫をしており、適切に表現ができる
- (4) 異なる立場にある人の意見や考え方も知り、対話の中で理解を深めることができる
- (5) 社会福祉の倫理観に基づいたコミュニケーションスキルを発揮することができる

4. 行動

- (1) 3. (2)で見つけた現時点での自分なりの答えを実践すべく、目標を設定し、行動に移すことができる
- (2) その行動に必要な専門的知識・技能の向上に努めることができる
- (3) 目標に向かって他者と協力することができる
- (4) 目標に向かって最後までやり抜くことができる／気概もっている
- (5) 目標に向かう過程で困難に直面しても、成長する機会として前向きに捉え、乗り越えるための工夫ができる
- (6) 身につけた知識・理解、技能・技術、態度・志向性をもって社会問題を解決する／社会に貢献することが楽しみとなっている

●福祉心理学科 ディプロマ・ポリシー

■学生が身に付けるべき資質・能力の目標

心理実践力を修得するために、以下の7つの資質・能力を育てます。

1. 総合的な人間理解力

- (1) 人の心には、人々に共通する心の特徴（一般的原理や法則）と、人それぞれの心の特徴（個人差や多様性）があることを理解できる
- (2) 人の心と行動は、社会・環境と相互に影響しあっており、社会・環境の影響で変わることを理解できる
- (3) 生活場面における人の心と行動について、心理学および隣接領域を含むさまざまな観点から幅広く総合的に理解できる

2. 根拠に基づく情報発信力

- (1) 心理学の方法（文献検討、観察、実験、調査、面接等）を用いて、客観的なデータを集めることができる
- (2) 心理学の方法で得たデータを、図や表を用いて整理し、他者にわかりやすく伝えることができる

3. 批判的・創造的思考に基づく問題発見・解決力

- (1) 生活場面における人の心と行動を適切に把握して分析し、より本質的な問題に気づくことができる
- (2) さまざまな分野の知識を柔軟に組み合わせ、他者の気持ちや意見を考慮し、予防策や解決策を見出すことができる

4. 共感と自己尊重に基づくコミュニケーション力

- (1) 他者の気持ちや意見を共感的に理解し、対話のなかで理解を深めることができる
- (2) 他者の気持ちや意見を尊重しながら、自分の気持ちや意見を適切に表現できる

5. 自己理解に基づくセルフコントロール力

- (1) 自分の気持ち、考え方、行動とそれらの特徴に気づくことができる
- (2) 怒りや不安等の自分の感情に気づき、ストレスに対処することができる
- (3) 自分の成長につながる目標を立て、やる気（モチベーション）を高めることができる

6. 集団理解に基づく対人調整力

- (1) 集団の目標を共有し、役割を分担し、取り組む課題を明確にすることができる
- (2) 集団で情報を共有し、メンバーのやる気（モチベーション）に気を配り、自由に意見を出してもらうことができる
- (3) メンバーのやりがいや喜びを共有し、メンバーの取り組みを前向きに評価できる

7. 心理学の学びを活かした社会貢献力

- (1) 積み重ねてきた学びを統合して、人々の幸せや福祉に貢献することができる
- (2) 個人や社会に役立つテーマを設定し、積み重ねてきた学びを活かしながら当事者や関係者とともに課題の解決に取り組むことができる

「特講（地域と生活）」 スクーリング講義概要

共通基礎科目 科目単位：1 スクーリング単位：1

履修方法：S 配当年次：1年以上

科目コード：AT1029 担当教員：村田周祐

日程：2018. 3/24・25（3/24 10：30～17：40 3/25 9：10～16：20）

開催地：仙台（仙台駅東口キャンパス）

■スクーリングで学んでほしいこと

この授業では、地域と生活を切り口に、日本民俗学や村落社会学の社会観の獲得を目指します。人口減少社会やグローバル市場の最前線にある現代農山漁村において、それでも地域生活を再編していく人々の英知に接近します。本講義では、英雄ではなく、「普通」の人々（私たち）の日常に埋め込まれた「創造性」に接近する術や学ぶ術を獲得することで、これまでとは異なる「世界の見え方」を獲得していくことを目的とします。

■到達目標

これまでとは異なる、もう一つの視点から社会・世界を見ることができるようになる。

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内 容
1	あたりまえを疑う	常識や普通ってなんだろう
2	なぜいま地域なのか①	福祉国家と地域
3	なぜいま地域なのか②	福祉社会と地域
4	距離と生活保障からみる地域	東北の限界集落の創造力
5	移動と自由からみる地域	鳥取林業に集う若者たち
6	軋轢と共生の地域	漁師になる移住サーファー
7	人と自然の距離からみる地域①	アクティブラーニング
8	人と自然の距離からみる地域②	アクティブラーニング
9	スクーリング試験	

■講義の進め方

本講義は知識ではなく、もうひとつの社会観・世界観の獲得を目指します。そのため、具体的な事例の紹介やアクティブラーニングなど、体感・追体験する学習が中心となります。

■スクーリング評価の基準

スクーリング試験100%（持込すべて可）

■スクーリング時の教科書

教科書は使いません。必要に応じて資料を配付します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10時間）

「あたりまえ」ってなんだろうと、少し立ち止まって考えてみてきてください。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25時間）

講義を通して、考えたことや気になったことを調べてみてください。

■卒業までに身につけてほしい力との関連

ふだんの生活やさまざまな活動を通して抱いた疑問をもつ力を身につけてほしいです。何の変哲もない「ふだんの生活」に疑問を持つことは、実に難しいです。なぜなら、「ふだんの生活」に疑問を持つためには、まず自分にとっての「あたりまえ」に気づくことが必要だからです。その力を養う助けになればと思います。

■参考図書

村田周祐著『空間紛争としての持続的スポーツツーリズム：持続的開発が語らない地域の生活誌』新曜社、2017年

